

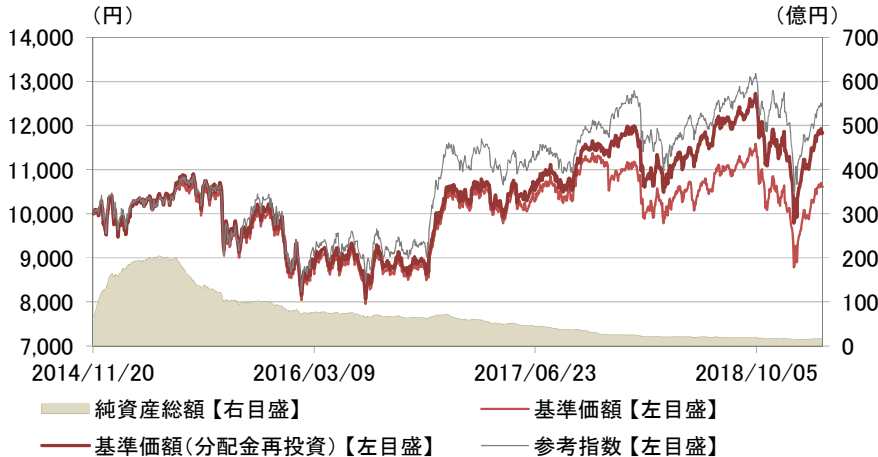
三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン
 〈愛称:USディスカバリー〉

月次レポート

2019年
02月28日現在

追加型投信／海外／株式

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、ラッセル3000バリュートンデックス(配当込み、円換算ベース)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.8%	1.1%	-3.6%	8.1%	34.7%	18.3%
参考指数	6.0%	-0.8%	-2.1%	5.6%	40.1%	24.7%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 保険	17.8%
2 メディア・娯楽	10.6%
3 エネルギー	10.1%
4 ソフトウェア・サービス	10.0%
5 小売	9.6%
6 素材	7.3%
7 銀行	4.7%
8 各種金融	4.5%
9 医薬品・バイオテクノ・ライフ	4.1%
10 不動産	4.0%

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	98.8%
その他	1.2%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 28銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 LKQ CORP	アメリカ	小売	5.9%
2 VERINT SYSTEMS INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.6%
3 FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	5.6%
4 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	5.0%
5 EURONET WORLDWIDE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.4%
6 ALLERGAN PLC	アイルランド	医薬品・バイオテクノ・ライフ	4.1%
7 BROWN & BROWN INC	アメリカ	保険	4.1%
8 RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	バミューダ	保険	4.0%
9 EQUITY COMMONWEALTH	アメリカ	不動産	4.0%
10 MERCURY GENERAL CORP	アメリカ	保険	3.9%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・国・地域は原則、法人登録地で分類しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 〈愛称:USディスカバリー〉

月次レポート

 2019年
02月28日現在

追加型投信／海外／株式

■運用担当者コメント

【市況動向】

2月の米国株式市況(1月30日～2月27日)は、上昇しました。米政府が対中関税引き上げを延期したことなどから米中通商協議への楽観的な見方が広がったことや、米政府機関の一部閉鎖回避に向けた動きが好感されたことなどを背景に上昇しました。

同期間の米国の各株価指数をみますと、ラッセル3000バリュートレックが3.9%の上昇、S&P500種株価指数が4.2%の上昇、NASDAQ総合指数が5.2%の上昇となりました。

【運用状況】

徹底した企業分析や経営陣とのミーティングを通じて、持続的な競争優位性を有し、かつビジネスが構造変化の過程にあると判断される企業を選定し、保有しました。2月の基準価額は、保有銘柄が上昇したことや、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与したことなどから上昇しました。なお、参考指数(ラッセル3000バリュートレック(配当込み、円換算ベース))も上昇しました。

組入銘柄の中では、市場予想を上回る2018年10-12月期決算を発表した「EURONET WORLDWIDE INC」(金融サービス会社)などが上昇しました。

【今後の運用方針】

米中貿易摩擦については、2月は楽観的な見方が広がったものの、引き続き景気や企業業績にもたらす悪影響には注意が必要だとみています。今後も米中通商協議や米連邦準備制度理事会(FRB)の金融政策といったマクロ要因がリスクとなると考えます。当ファンドでは引き続き、経営陣の入れ替えや戦略的買収等の独自要因で収益力を改善できる企業を選別し、企業価値に比べて株価が割安な水準まで低下したタイミングで投資を行うことで、下値リスクを抑制しながらリターンの向上を目指す方針です。

・ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクの資料に基づき作成しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■本資料で使用している指数について

ラッセル3000バリュートレック(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル3000バリュートレック(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリュートレック(配当込み)は、米国企業株時価総額上位3,000銘柄のうち、相対的に低PBR(株価純資産倍率)で割安性が高く、一方で利益の予想成長性が比較的低い銘柄で構成された指数です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出・利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

■GICS(世界産業分類基準)について

・Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 〈愛称:USディスカバリー〉

月次レポート

 2019年
02月28日現在

追加型投信／海外／株式

■組入上位10銘柄コメント

銘柄	銘柄概要
1 LKQ CORP (LKQ)	自動車修理用部品卸売会社。 衝突補修用をはじめ、様々な修理用の自動車部品を提供しています。北米では確固たる地盤を築いており、欧州へ進出することで、業績拡大を図っています。
2 VERINT SYSTEMS INC (ベリント・システムズ)	データ分析会社。 顧客との電話を録音・解析してカスタマーサポートの改善を図るソフトウェアや、AIを活用し顧客による問題の自己解決を促すソリューションを開発しています。また、世界各国の防衛機関などに、ビッグ・データ解析技術を応用したサイバーセキュリティ・ソフトウェアも提供しています。
3 FACEBOOK INC-CLASS A (フェイスブック)	インターネットメディア会社。 世界最大のソーシャル・ネットワーキング・サービス「Facebook」や、画像・動画共有アプリ「Instagram」、メッセージアプリ「Messenger」等を運営しています。
4 ALPHABET INC-CL A (アルファベット)	IT会社。 傘下のグーグルで検索エンジンやオンライン広告等のインターネット・サービスを提供して安定したキャッシュフローを生み出し、自動運転や医療といった新たな成長分野への投資を積極的に行っています。
5 EURONET WORLDWIDE INC (ユーロネット・ワールドワイド)	金融サービス会社。 プリペイド携帯電話やプリペイドカードの電子決済処理、そしてATMの運営や送金等のサービスを提供しています。オンライン・ゲーム購入用のプリペイドカード等、携帯電話向け以外にも事業を展開しています。ATM事業では、戦略的買収により送金ネットワークを着実に広げ利用件数の増加を図っています。
6 ALLERGAN PLC (アラガン)	医薬品会社。 神経科、泌尿器科、婦人科等の一般医薬品等を開発しています。また企業の合併・買収(M&A)を通じ、事業の選択と集中を図っています。
7 BROWN & BROWN INC (ブラウン・アンド・ブラウン)	保険代理店運営会社。 民間企業、公的機関、個人向けに、貿易保険や傷害保険をはじめ、様々な保険商品を提供しています。ITシステムの効率化による収益改善に取り組んでいます。
8 RENAISSANCERE HOLDINGS LTD (ルネサンスリー・ホールディングス)	保険持株会社。 洪水、台風、地震などの災害による巨額の支払いに備えた異常災害再保険に加え、自動車責任保険や使用者賠償責任保険、信用保険、モーゲージ保険、テロ保険等幅広い損害保険商品を提供しています。
9 EQUITY COMMONWEALTH (エクイティ・COMMONWEALTH)	不動産投資信託(REIT)。 米国主要都市を中心に、米国政府および医療関連企業等へオフィスビルの賃貸を行っています。不採算物件の売却、高収益物件への投資、有利子負債の削減等に取り組んでおり、業績の安定感が増えています。
10 MERCURY GENERAL CORP (マーキュリー・ゼネラル)	損害保険会社。 個人向け自動車保険をはじめ、米国で様々な損害保険商品を提供しています。業界内での価格競争力を維持しながら収益性を確保できる最適な保険料率を設定しつつ、自動車保険や住宅保険等、同社の複数の保険に加入すると保険料を割り引くサービスを提供しています。

・上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。・ビクトリー・キャピタル・マネジメン・インクの資料に基づき作成しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 〈愛称: USディスカバリー〉

追加型投信／海外／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

米国の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 米国の株式等(預託証券(DR)※を含みます。以下同じ。)を実質的な主要投資対象とします。

※預託証券(DR)とは、Depository Receiptの略で、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

運用方法 株式等への投資にあたっては、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される企業の株式に厳選して投資を行います。

・徹底した企業分析や経営陣とのミーティングを通じて、持続的な競争優位性を有し、かつビジネスが構造変化の過程にあると判断される企業の中から、投下資本利益率(ROIC)※の改善が期待される企業を選定します。

※投下資本利益率(ROIC)とは、Return On Invested Capitalの略で、投下資本に対して利益を生み出す効率性を測る尺度です。

・投資候補銘柄の中から長期的な企業価値拡大の確信度が高い銘柄を抽出し、20～35銘柄程度に厳選して投資を行います。

運用の委託先 株式等の運用にあたっては、運用の指図に関する権限を、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。

(ファンドの運用は、RSインベストメンツが担当します。)

為替対応方針 原則として、為替ヘッジを行いません。

■ファンドの仕組み

・運用は主に米国株厳選投資戦略マザーファンドへの投資を通じて、米国の株式等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

・年2回の決算時(5・11月の各25日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 〈愛称:USディスカバリー〉

追加型投信／海外／株式

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2019年11月25日まで(2014年11月20日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年5・11月の25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 〈愛称:USディスカバリー〉

追加型投信／海外／株式

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24% (税抜 3%)** (販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率2.052% (税抜 年率1.9%)** をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○